



Audit Committee *Brief*

Audit Committee Brief は、監査委員会にとって重要な問題や考察をタイムリーに取り上げることに注力しています。ご質問やご意見、ご提案のある方は、auditcommittee@deloitte.com 宛にご連絡ください。

[Audit Committee Brief アーカイブの閲覧](#) | [Audit Committee Resourcesアプリケーションのダウン](#)

注目すべき公表物

自主的な監査委員会の委任勧誘状の開示が、緩やかかつ着実なペースで増加

ここ数年、様々なガバナンス・グループと投資家が、監査委員会の職務遂行方法に関してより多くの情報を開示するよう、監査委員会に促しています。デロイトのプロキシ・ステートメント(proxy statement)に関する最近の調査によれば、自主的な開示は緩やかかつ着実なペースで増加しています。監査委員会がその職務遂行において各年度に行うすべてを開示することは、必要でなく、また可能でもありませんが、監査委員会の構成と主要な活動についてのさらなる洞察を提供することは、監査委員会および企業に対する投資家の信頼を高めるのに役立ちます。

[詳細を見る](#)

注目の公表物や話題

2017年のアジェンダ: 収益認識、内部統制に直面

コンプライアンスウィークのこの記事は、収益認識を、2017年 - 会計上の変更が内部統制の継続的な強化と一体化する年 - の優先事項として挙げています。PCAOBとSECは、内部統制の報告と監査に関するコンプライアンスのレベルにはまだ満足していないこと、そして、是正すべき内部統制の欠陥がどこにあるのかを理解するために、監査委員会が外部監査人と詳細かつ精神的な対話を継続するよう期待していることを、引き続き周知しています。

[詳細を見る](#)

次期米国政権への注目

デロイトの2016年第4四半期 *CFO Signals* の調査は、第4四半期に、政府の政策に関する明確性の欠如が大幅に増加したことを示しました。回答者は、最も懸念されるリスクの中の2つの新しいテーマ、すなわち米国の新政権による影響の不確実性と、世界貿易に及ぼす保護主義の影響について、頻繁に言及しました。

[詳細を見る](#)



財務スイートにおける人工知能

F&E Dailyとの2部構成のインタビューにおいて、デロイトのコグニティブ・コンピューティング実務のプリンシパル兼リーダーであるラジーブ・ロナンキ(Rajeev Ronanki)氏は、ビジネスにおいて必須なものとしてのコグニティブ・テクノロジーを概説しています。ロナンキ氏は、コグニティブ・テクノロジーの能力、どこから始めるべきか、企業が今日どのように使用しているか、そして人工知能とコグニティブ・コンピューティングによって業界がどこに向かうかについて述べています。

[Part 1](#) | [Part 2](#)

法人所得税の会計処理に関するロードマップ

このロードマップは、ASC 740およびIFRSにおける法人所得税の会計処理指針に関するデロイトの洞察および解釈を提供しています。法人所得税の会計処理の枠組みは長年にわたり機能してきましたが、この枠組みの現在の取引への適用に関する見解は、構造と税法が変わるにつれて進化しています。

[詳細を見る](#)

規則の制定や基準の設定に関する動向

Accounting roundup: 2016 in review

2016年に生じた主要な動向は、次の通りです。

- リースおよび信用損失に関するFASBの基準、ならびに新たな収益基準に関連する適用上の問題に関する複数のASU
- SECによる非会計基準測定尺度への注目度の増大、および開示イニシアティブへの継続的な取組み
- IASBによるリースに関する基準の公表、ならびに収益および保険契約に関する基準の修正
- 英国の国民投票による欧州連合離脱の決定とその結果としての財務報告への影響

[詳細を見る](#)

2017年に予想される新しい会計処理規則の一回

FASB会長のラッセル・ゴールデン(Russell Golden)氏は、FASBが2016年に発行した多数の提案が、2017年に最終化される見込みであると述べました。これらの提案には、ヘッジ会計や生命保険・年金の契約の変更が含まれています。また、ブルームバーグBNAとの議論においてゴールデン氏は、3月に開催予定の円卓会議による、財務報告における開示を改善するための取組みを促進する計画について概説しました。

[詳細を見る](#)

近日配信予定のDbriefs

Becoming board-ready: Lessons learned for potential board candidates

(取締役になる準備はできている: 将来の取締役候補者にとっての教訓)

2月9日、午後2時(米国東部標準時)

[詳細を見る](#) | [今すぐ登録する](#)

Modernizing compliance: Moving from value protection to value creation

(コンプライアンスの現代化: 価値保護から価値創造への移行)

3月30日、午後2時(米国東部標準時)

[詳細を見る](#) | [今すぐ登録する](#)

デロイトのその他のリソース

[Audit Committee Brief](#) その他の刊行物の購読を申し込む

[監査委員会向けのページ](#)

[取締役会有効性センター](#)

デロイトトーマツ グループは日本におけるデロイトトウシュートーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイトトーマツ コンサルティング 合同会社、デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザリー 合同会社、デロイトトーマツ 税理士法人およびDT弁護士法人を含む)の総称です。デロイトトーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー等を提供しています。また、国内約40都市に約8,700名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマツ グループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界150を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスをFortune Global 500® の8割の企業に提供しています。“Making an impact that matters”を自らの使命とするデロイトの約225,000名の専門家については、[Facebook](#)、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)もご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイトトウシュートーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTLおよび各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または“Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTLおよびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的な事案をもとに適切な専門家にご相談ください。